



## 『「歴史」指導の手引き』の改訂事項（2020年第1回試験）

教師と試験官の皆さまからのご提案を受け、2015年1月発行（2017年5月第1回試験）の『「歴史」指導の手引き』に多数の改訂が加えられました。

この改訂版は、2018年6月1日に発行されます。改訂版の『指導の手引』きは、2018～2019年度の開始時より指導し、2020年5月以降の試験に反映されます。2018年5月試験、2018年11月試験、2019年5月試験、2019年11月試験は、現行の『指導の手引き』に基づいて実施されます。

以下の改訂事項は、『指導の手引き』での記載順に並べられています。これらの改訂事項が及ぼす影響について質問がある場合は、「歴史」のカリキュラム責任者までメール（[dpdevelopment@ibo.org](mailto:dpdevelopment@ibo.org)）でご連絡ください。

### シラバスの内容：試験問題1（指定学習項目）

#### 指定学習項目2：征服とその影響

改訂事項	現行の「指導の手引き」のページ番号
事例研究1の「主な出来事と人物」に、「トマス・デ・トルケマダ」を追加する。	21 ページ
事例研究2の「主な出来事と人物」に、「バルトロメ・デ・ラス・カサス」、「フアン・ヒネス・デ・セプルベダ」を追加する。	21 ページ
事例研究2の「影響」のセクションを改訂し、文化的、社会的、経済的な影響に何が含まれるかを明確化する。	21 ページ

### シラバスの内容：試験問題2（世界史トピック）

改訂事項	現行の「指導の手引き」のページ番号
試験問題2のすべての世界史トピックの導入部を改訂し、「試験の設問では、世界の2つの異なる地域からの事例を参照するように要求されることがある」ことを明確化する。	29～44 ページ

## 世界史トピック 1：社会と経済（750～1400 年）

改訂事項	現行の「指導の手引き」のページ番号
学習テーマ「社会と経済」の「女性の役割」および「貿易の性質とその発展」についての項目改訂し、その範囲を明確化する。	29 ページ
学習テーマ「宗教と社会」の「宗教組織」についての項目を簡略化する。	29 ページ

## 世界史トピック 2：中世の戦争の原因と結果（750～1500 年）

改訂事項	現行の「指導の手引き」のページ番号
トピックの全体タイトルを「戦争の原因と結果（750～1500 年）」に改訂する。	31 ページ
学習テーマ「戦争や紛争の種類と原因」の 3 つ目の項目を簡略化して、政治的要因のみに焦点をあてる。	31 ページ
2 つ目の学習テーマのタイトルを「過程、慣習、結果」に改訂する。	31 ページ
学習テーマ「過程、慣習、結果」の 2 つ目の項目を「人的資源と経済的資源の動員」に置き換え、学習する事例を教師と生徒がより柔軟に選べるようにする。	31 ページ
「戦争と女性」の項目を「女性の役割と重要性」に置き換える。	31 ページ
学習テーマ「影響」の 2 つ目と 3 つ目の項目を改訂して、明確化する。	31 ページ

## 世界史トピック 3：王朝と支配者（750～1500 年）

改訂事項	現行の「指導の手引き」のページ番号
学習テーマ「法、統治機関、行政」の 1 つ目の項目から「モデル」を削除し簡略化する。	33 ページ
学習テーマ「法、統治機関、行政」の 2 つ目の項目を改訂して、「宗教法と世俗法の影響」とする。	33 ページ
学習テーマ「挑戦」の 2 つ目の項目を簡略化して、権力への挑戦に対応するために使われた方法についてとする。	33 ページ

## 世界史トピック 4：過渡期の社会（1400～1700 年）

改訂事項	現行の「指導の手引き」のページ番号
学習テーマ「社会と経済の変化」の 3 つ目の項目を改訂し、「社会的少数者と先住民族の待遇」とすることで、学習する事例を教師と生徒がより柔軟に選べるようにする。	34 ページ

## 世界史トピック 5：近世の国家（1450～1789 年）

改訂事項	現行の「指導の手引き」のページ番号
明確にするため、いくつかの項目をまとめて簡略化する。特に学習テーマ「権力の拡大」の項目の内容にこの改訂を加える。	35 ページ

## 世界史トピック 6：近世の戦争の原因と結果（1500～1750 年）

改訂事項	現行の「指導の手引き」のページ番号
学習テーマ「慣習と結果への影響」の 2 つ目の項目を「人的資源と経済的資源の動員」に置き換え、学習する事例を教師と生徒がより柔軟に選べるようにする。	36 ページ
学習テーマ「慣習と結果への影響」の 3 つ目と 5 つ目の項目の意味を明確にするため、表現を改訂する。	36 ページ
学習テーマ「影響」の「和平調停の成功と失敗」についての項目の表現を改訂して、明確化する。	36 ページ

## 世界史トピック 7：産業化のはじまり、発展とその影響（1750～2005 年）

改訂事項	現行の「指導の手引き」のページ番号
学習テーマ「主な発展がもたらした影響とその意義性」の 3 つ目と 4 つ目の項目を改訂して、学習する事例を教師と生徒がより柔軟に選べるようにする。	37 ページ
学習テーマ「産業化がもたらした社会的、政治的影響」の 4 つ目の項目の内容を「リテラシーとメディア」を削除して簡略化する。	37 ページ

## 世界史トピック 9：民主主義国家の発展（1848～2000 年）

改訂事項	現行の「指導の手引き」のページ番号
トピックの全体タイトルを「民主主義国家の出現と発展（1848～2000 年）」に改訂して、トピックの焦点が 1848 年以降に出現した民主主義国家であることを明確にし強調する。	40 ページ
学習テーマ「民主主義国家の出現」の 3 つ目の項目を改訂して、「民主主義国家の出現に際して」の各要因の発展の意義に焦点をあてていることを強調する。	40 ページ
3 つ目の学習テーマのタイトルを「政策のねらいと結果」に改訂して、ここに含まれている学習項目の焦点の意図を明確にする。	40 ページ

## 世界史トピック 10：独裁主義的国家（20 世紀）

改訂事項	現行の「指導の手引き」のページ番号
「このトピックの学習で使用できる例」を改訂して、「ソ連 — レーニンとスターリン」を含める。	41 ページ

## 世界史トピック 11：20 世紀の戦争の原因と影響

改訂事項	現行の「指導の手引き」のページ番号
学習テーマ「慣習と結果への影響」の「技術開発」についての項目における表現を改訂して、明確にする。	42 ページ
学習テーマ「影響」の 3 つ目の項目の表現を改訂して、明確にする。	42 ページ

## 世界史トピック 12：冷戦：超大国間の緊張と対立（20 世紀）

改訂事項	現行の「指導の手引き」のページ番号
学習テーマ「指導者と国家」の 2 つ目の項目の表現を改訂して、冷戦が（異なる地域から選んだ）2 つの国に及ぼした経済的、社会的、文化的な影響に焦点をあてる。また、「ソ連とアメリカ以外」という要件は削除する。	44 ページ

---

## シラバスの内容：試験問題 3（HL 選択項目 3：アジアとオセアニアの歴史）

### 2：日本の武家時代（1180～1333 年）

改訂事項	現行の「指導の手引き」のページ番号
1 つ目の項目を改訂して、源平合戦の原因と結果を含める。	49 ページ

### 5：東南アジアの植民地主義とナショナリズムの発展（1750 年頃～1914 年）

改訂事項	現行の「指導の手引き」のページ番号
3 つ目の項目を改訂して、フィリピン独立革命の原因と結果を含める。	51 ページ

## 7：伝統的な東アジア社会への挑戦（1700～1868年）

改訂事項	現行の「指導の手引き」のページ番号
5つ目の項目を改訂して、太平天国の盛衰の理由について学習すべきであることを明確にする。	52 ページ
6つ目の項目を改訂して、徳川幕府の支配下の社会と経済を考察する際に、変化と不満の理由について学習する必要があることを明確にする。	52 ページ
8つ目の項目の表現を改訂して、幕末期の危機の政治的、社会的、経済的な側面がこの指定学習項目に含まれていることを強調する。	52 ページ

## 9：東アジアの初期の近代化と帝国の衰退（1860～1912年）

改訂事項	現行の「指導の手引き」のページ番号
1つ目の項目を改訂して、「愛新覚羅奕訢」を指定学習項目に追加する。	53 ページ
5つ目の項目を改訂して、明治維新の理由について学習すべきであることを明確にする。	53 ページ
7つ目の項目を改訂して、日本の軍事力増強が地域に及ぼした影響の考察を指定学習項目に追加する。	53 ページ

## 10：インドのナショナリズムと独立（1919～1964年）

改訂事項	現行の「指導の手引き」のページ番号
1つ目の項目を削除する。また、2つ目の項目に「第一次世界大戦の余波」を追加する。	53 ページ

## 11：日本（1912～1990年）

改訂事項	現行の「指導の手引き」のページ番号
1つ目の項目を改訂して、ここで言及されている会議がパリ講和会議（1919年）およびワシントン会議（1921～1922年）であることを明確にする。	54 ページ

## 12：中国と朝鮮（1910～1950年）

改訂事項	現行の「指導の手引き」のページ番号
3つ目の項目の表現を改訂して、中国で共産主義が台頭した政治的、経済的、社会的な理由に焦点をあてる。	54 ページ

改訂事項	現行の「指導の手引き」のページ番号
4つ目の項目を改訂して、指定学習項目を明確にする。	54 ページ
5つ目の項目を改訂して、「李承晩」、「金日成」を指定学習項目から削除する。	54 ページ
6つ目の項目を改訂して、蒋介石による統治の確立により明確に焦点をあてる。	54 ページ

### 13：東南アジアにおける世界大戦の影響

改訂事項	現行の「指導の手引き」のページ番号
このセクションを改訂して、東南アジアにおける第二次世界大戦の影響のみに特化する。これを受けて、セクションのタイトルは「東南アジアにおける第二次世界大戦の影響」に変更する。また、導入部を変更し、1つ目の項目を削除する。7つ目の項目を簡略化して、第一次世界大戦への言及を削除する。	55 ページ

### 15：アジアの冷戦

改訂事項	現行の「指導の手引き」のページ番号
2つ目の項目を改訂して、朝鮮戦争の性質の考察を指定学習項目に追加する。	56 ページ

## シラバスの内容：試験問題 3（HL 選択項目 4：ヨーロッパの歴史）

### 1：イングランドとフランスの君主制（1066～1223 年）

改訂事項	現行の「指導の手引き」のページ番号
このセクションの導入部をわずかに改訂して、ノルマン人侵入が社会に及ぼした影響の考察を含めることを強調する。	59 ページ
3つ目の項目を改訂して、「ガスコーニュ」を「ヨーロッパ」に置き換える。	59 ページ

### 2：中世ヨーロッパのイスラーム教徒とユダヤ人（1095～1492 年）

改訂事項	現行の「指導の手引き」のページ番号
6つ目と7つ目の項目をまとめ、一貫性のある明確な表現に改訂する。	60 ページ

### 3 : 中世後期の政治危機 (1300~1487 年)

改訂事項	現行の「指導の手引き」のページ番号
4つ目の項目を改訂して、フィリップ2世、フィリップ3世、シャルルに明確に言及する。	60 ページ

### 4 : ルネサンス (1400 年頃~1600 年)

改訂事項	現行の「指導の手引き」のページ番号
4つ目の項目を改訂して、指定学習項目の焦点を文学的および政治的な著作の影響に絞る。	60 ページ

### 5 : 大航海時代とその影響 (1400~1550 年)

改訂事項	現行の「指導の手引き」のページ番号
3つ目、4つ目、5つ目の項目を改訂して、ヨーロッパの国家にもたらした結果が指定学習項目であることを明確にする。	61 ページ

### 6 : 宗教改革 (1517~1572 年)

改訂事項	現行の「指導の手引き」のページ番号
セクションのタイトルを「宗教改革のさまざまな側面」(1500年頃~1563年)に変更し、セクション全体を改訂して、ドイツにおけるプロテスタンティズムの発展と、それに対するローマ教皇およびカトリック教会の反応に学習の焦点をあてられるようにする。改訂後の項目では、指定学習項目をより明確に具体的に説明し、教師と生徒が宗教改革のこれらの側面について有意義かつ深い学習を行えるようにする。	61 ページ

### 7 : 絶対主義と啓蒙主義 (1650~1800 年)

改訂事項	現行の「指導の手引き」のページ番号
このセクションの導入部を改訂して、ルイ14世、ヨーゼフ2世、およびモーツァルトの音楽が指定学習項目ではないことを明確にする。	62 ページ

## 9 : フランス (1815～1914 年)

改訂事項	現行の「指導の手引き」のページ番号
4 つ目の項目を改訂して、第二帝政の確立について学習すべきであることを明確にする。	63 ページ

## 10 : イギリスとアイルランドにおける社会、政治および経済 (1815～1914 年)

改訂事項	現行の「指導の手引き」のページ番号
6 つ目の項目を改訂して、1901 年から 1914 年までの全期間を対象としていること、およびにアイルランド自治をめぐる危機について学習すべきであることを明確にする。	63 ページ

## 13 : ヨーロッパと第一次世界大戦 (1871～1918 年)

改訂事項	現行の「指導の手引き」のページ番号
5 つ目の項目を簡略化して、明確にする。	65 ページ

## 14 : 両大戦間期のヨーロッパ諸国 (1918～1939 年)

改訂事項	現行の「指導の手引き」のページ番号
セクションのタイトルを「両大戦間期のヨーロッパ諸国における国内の展開」(1918～1939 年)に変更し、このセクションの焦点が国内の展開であることを明確にする。	65 ページ

## 15 : ヴェルサイユからベルリンへ : ヨーロッパの外交関係 (1919～1945 年)

改訂事項	現行の「指導の手引き」のページ番号
セクションのタイトルを「ヨーロッパの外交関係」(1919～1945 年)に簡略化し、このセクションの内容を明確にする。	66 ページ
セクションの導入部と 1 つ目の項目を改訂し、パリ講和条約(1919～1923 年)に明確に言及する。	66 ページ



## 16：ソヴィエト連邦と新生ロシア（1924～2000年）

改訂事項	現行の「指導の手引き」のページ番号
2つ目の項目を改訂し、教師と生徒がソヴィエト連邦の出来事（1945～1953年）に焦点をあてられるようにする。	66 ページ

## 17：大戦後の西および北ヨーロッパ（1945～2000年）

改訂事項	現行の「指導の手引き」のページ番号
セクションの導入部を改訂して、各国内の問題とヨーロッパ統合に向けた流れにおける問題の両方に対する対処方法が指定学習項目であることを明確にする。	67 ページ

## 18：大戦後の中央および東ヨーロッパ（1945～2000年）

改訂事項	現行の「指導の手引き」のページ番号
セクションの導入部を改訂して、東側諸国の崩壊の理由を考察すべきであることを明確にする。	67 ページ
3つ目の項目を改訂して、記載されているすべての国が指定学習項目であることを明確にする。	67 ページ
6つ目の項目を改訂して、地域内のロシアを除く旧ソヴィエト連邦の国をケーススタディーに選択できることを明確にする。	68 ページ

---

## 外部評価

### 外部評価の詳細：試験問題 2 および試験問題 3

改訂事項	現行の「指導の手引き」のページ番号
試験問題 2 (SL・HL) のマークバンド (採点基準表) の評点 7-9 の説明を改訂して、「世界史のトピックに対する知識は部分的に正確であり、設問への関連性も部分的にある」答案であることを明確にする。試験問題 3 (HL) のマークバンド (採点基準表) の評点 7-9 の説明を改訂して、「知識は部分的に正確であり、設問への関連性も部分的にある」答案であることを明確にする。評点 10-12 の説明を改訂して、「知識はおおむね正確であり、設問への関連性もおおむねある」答案であることを明確にする。	77～79 ページ